

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成30年度採択）

中間評価（案）（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
30-8	道路土工と舗装の一体型診断システムに基づいた長寿命化修繕方法の開発	岐阜大学 教授 八嶋 厚	A
<p><研究の概要></p> <p>舗装表層の供用年数が使用目的年数に満たず早期に劣化が進行し、補修が繰返される区間について、道路管理の観点から、LCC 最小化を目指した、新しい詳細診断システムと抜本的修繕工法の開発を行う。</p> <p><中間評価結果></p> <p>点検データの蓄積とデータ解析、試験施工実施および長期計測技術の開発、修繕工法の確認試験の実施など、計画通り順調に進んでおり、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 今後、研究の進捗により、舗装と土工一体の調査診断方法と修繕工法が体系的に示され、実用化に結びつけられることを期待する。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第36回新道路技術会議において審議したものである。